

ご挨拶



大野 秀夫



奥 猛志

平成23年度 日本小児歯科学会 中四国・九州地区合同地方会

第30回日本小児歯科学会中四国地方会大会および総会

大会長 大野 秀夫

第29回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会

大会長 奥 猛志

東日本大震災と原発事故から数カ月が過ぎ少しづつではありますが、復興への歩みが始まっています。私たちも皆何らかの形で被災地への支援の手を差し伸べることができたと思います。しかしながら、福島原発事故の収束はまだまだ時間がかかり、最悪の事態の危険性は残されているようです。私たちはただ固唾をのんで見守るしかありません。放射能汚染のニュースがたびたび取り上げられ、このような環境で育つ日本の子どもたちへの影響が懸念されます。

この度、「第30回日本小児歯科学会中四国地方会大会」ならび「第29回日本小児歯科学会九州地方会大会」の担当者が地方会の枠を超えて協力し、「平成23年度日本小児歯科学会中四国・九州地区合同地方会」として開催させていただく運びとなりました。両学会の担当者は何度も協議を重ね、多くの会員の皆様にとって有益で喜んでいただくように企画しました。

今、日本は地震、津波、原発事故という未曾有の苦しみの中、また、社会および疾病構造の変化などから子どもたちを取り巻く環境は大きく変化してきました。本学会のメインテーマ「未来を担う子どもたちの笑顔のために」について小児歯科領域のいろいろな角度から考えていただける内容をとりそろえました。また日本小児歯科学会中四国地方会と九州地方会の合同企画として小児歯科医が医療制度の狭間で苦慮している現状を打破するため、医療政策関係者との討議を行うことにしました。私たち小児歯科に携わる者が力や英知を出し合い、またいろいろな人との出会いで新しい世界を創る若いパワーを育み、共に変化を求めたいと思います。

最後になりましたが、本学会は臨床医の目線から学会を開催する趣旨から両学会とも開業医が大会長になっています。しかし学会運営のほとんどは大学の先生方のご尽力によるものです。特に鹿児島大学の山崎教授、齊藤准教授および広島大学の香西教授、海原助教には多大なご負担をいただき感謝いたします。また、会場となる九州歯科大学の牧教授、森川助教を始め、各大学の医局の先生方には並々ならぬご尽力を賜りました。あらためて御礼を申し上げます。